

東日本大震災の 対応を再検証する



古沢 耕作
議員

あの、1万5千人以上もの尊い命が奪われた、原発事故を伴う東日本大震災から、4年を迎えました。しかし、復興は思うように進んでおらず、いまだ避難生活を送る方々が、全国に約23万人、仮設住宅で暮らす方も約16万人余りいらっしゃいます。

人口減少が続く本市が「選ばれるまち」になるためにも、苦境にある方々に対する態度は、極めて重要です。あの震災を風化させない、との思いも込めて質問します。

当時、計画停電等で本市の市民の方々も大変不自由な生活を強いられました。市内では、どの程度の被害があったのか。また、本市に避難されて来られた方の人数や、そうした方々に対する支援について伺います。

○市長公室長
本市では、震度5強を観測し、負傷者13人、建物被害は

半壊4件、その他、屋根瓦損壊、ブロック塀倒壊等の被害があり、地震発生後ただちに災害対策本部を設け、24時間体制で対応しました。また、平成23年9月末の時点で、東北地方から116世帯、285人の方が本市に避難され、昨年未現在でも、98世帯234人の方が本市で生活されています。水道料金の免除や健康診断の実施等の支援を行っており、今後も引き続き最大限の支援をしていきます。

このほか

○27年度から施行される生活困窮者自立支援法について

自治会加入の 促進について



木村 圭一
議員

若い世代に自治会に加入していただくためには、ホームページを開設し、自治会独自の魅力を訴えていくことも一つの手段であると考えます。

自治会がホームページを立ち上げるための支援を行うことができないでしょうか。また、災害時の行政と自治

会の役割を明確にし、市民へ発信していくことで、自治会加入の必要性が地域住民に感じられ、加入促進に繋がるのではと考えますが、市の考えを伺います。

最後に、自治会への加入を促す条例を制定して、市民に啓発していくことに対し、どのように考えているのか、市の考えを伺います。

○民生生活部長

ホームページの活用は有効ですが、開設に苦慮している自治会もあると考え、今後、研修会の開催などを自治会連合会と調整していきます。

自主防災組織の防災訓練等により、お互いの協力を意識した関係を築いています。市でも活動への支援を行うと共に、今後も普段からの共助の重要性を啓発していきます。

自治会加入は個人の自由意思であるため、理念的な条例になりません。まずはさまざまな加入者促進策を実施し、条例を制定した他市の状況も見極めた上で検討してまいります。

このほか

○「コンビニ検診」の促進で生活習慣病予防を促進
○パーキングパーミット制度の導入について

認知症高齢者や障がい者の「見守りシステム」について



武 幹也
議員

本市の緊急通報システムは、65歳以上、利用者は既往症（持病等）を持ち、高齢単身者、または、高齢者のみの世帯を対象として、自宅で利用者が急病等になった際に、救急車の手配をするものです。

また、かかりつけ医療機関や近親者の緊急連絡先等の情報をあらかじめ登録することで、外出時でも通信指令室の画面上で確認が可能な医療救急情報管理システムも完成しました。

これらを応用し、認知症高齢者や障がい者の「見守り」に利用できないか伺います。

○福祉部長

現在、市で実施している緊急通報システム、配食サービスなどの高齢者福祉サービスの重層的なご利用により見守ると共に、介護保険制度や成年後見制度の利用に繋がられるように対応しています。今後とも各地域包括支援セン



緊急通報システム

ターをはじめ、民生委員・児童委員、自治会、近隣住民等による日常からの見守りにより、認知症高齢者の発見にご協力いただくとともに、市と消防本部で情報を共有しながら、様々な高齢者福祉サービスの利用促進を考えています。

このほか

○避難場所誘導案内つきの電柱広告について

○不妊治療に対する補助について

市長の平成27年度 施政方針について



中川 朗
議員

平成27年度は「地方創生元年」と言われています。地方創生担当大臣が誕生し、「まち・ひと・しごこの創生」に向けた取り組みが地方を巻き込みながら一気に加速してきています。

一方、本市は、重点プロジェクト事業を積極的に推進することにより、人口増加に努めていることは理解してはいますが、現実として、人口は減少傾向となっています。

これまで本市が実施してきた人口増加策に加え、地方創生という政府の新たな動きが加わりますが、今後、市はどのように人口増加策を行っていくのか伺います。また、どのようなポテンシャルを生かして、市の魅力向上に努めていくのか伺います。

○総合政策部長

人口増加策については「地方版人口ビジョン」において、2060年を想定した本市の

将来の姿を示していきたいと考えます。さらに「地方版総合戦略」の策定では、重点プロジェクト等の視点に加え、「まち・ひと・しごこの創生」という目的に対し、総合的な視野から、より効果が高い施策や事業を計画に盛り込めるよう検討したいと考えます。

シティセールスアクションプランの中で、子育てや音楽など本市が誇る8つの魅力を示しましたが、本市の持つ有力なポテンシャルとすることができると思います。今後、これらの魅力を育てる取り組みを行ってまいります。



シティセールスアクションプラン策定のための市民ワークショップ

貧困から子どもを救うため 実態調査や教育費の支援を



卯月 武彦
議員

子どもの貧困率が上昇し、2012年に16・3パーセントとなりました。昨年実施された「子どもの貧困対策の推進に関する法律」では、地方公共団体が、教育の支援、生活の支援、経済的支援、貧困に関する調査や研究などの対策を講ずるものと定められています。本市では法に基づいて実態調査を行う考えはあるのでしょうか。

教育を受ける権利を保障するために、就学援助の対象に国が認めている生徒会費やPTA会費、クラブ活動費を加えるべきではないでしょうか。認定基準を生活保護基準の1・5倍に戻すべきではないでしょうか。

給付型の奨学金制度を作るべきではないでしょうか。

○福祉部長

これまで貧困に特化した調査等は行っていないですが、ひとり親家庭への経済的支援の

状況や就学援助の申請状況等のデータから一定の傾向が把握できるものと考えています。

○学務指導担当部長

就学援助については、認定割合が増加している状況であるため、対象や認定基準は拡大せず、現状を維持して真に就学援助を必要とする児童生徒への支援を継続できるように努めたいと考えます。

奨学金制度についても、より多くの就学希望者を支援するため、現在の奨学金制度を維持していきたいと考えます。

このほか

○商店街の活性化について

いきいきクラブの 充実について



岩谷 一弘
議員

総合振興計画に明示されているように、いきいきクラブは、本市の高齢者施策の中で非常に重要な組織です。しかし、私の調べでは、平成22年度から26年度までの5年間で単位クラブの数は16パーセント減、会員数は22パーセント減であり、激減しているとき

え感じてしまいます。この現状に対して、増加に転じる施策として、補助金を消費増税額程度分(5パーセント)増額してはいかがでしょうか。また、いきいきクラブの候補となりうる地域団体の育成補助をしてはどうか伺います。

○福祉部長

補助金の増額を含め、従来行ってきた会員増加策や支援策のみならず、これまで以上の取り組みも検討すべき点があるのではないかと考えます。

今後、いきいきクラブ連合会の皆さまと十分協議を行いながら、会員増加策や支援策に対する市の関わりや単位クラブの在り方、連合会組織との関係、単位クラブの育成支援など研究を重ねてまいります。

○市長

いきいきクラブの皆さんには、地域のコミュニティーにおいても大きな役割を担っていただいています。地域はもちろんな、本市にとっても大変貴重な人材であり、財産です。これからは高齢者の皆さんが地域で生き生きと生涯現役で活躍いただけるよう必要な支援を行ってまいります。

このほか

○環境政策について

**放課後児童クラブの
充実について**



石川 友和
議員

平成27年度の石川市長の施政方針の説明にもありました
が、重点プロジェクト主要三分野の子育て・医療の中で、
放課後児童クラブの整備もし
っかりうたっており、入室で
きなかつた入室却下児童の解
消を目的として、平成26年度
八木崎放課後児童クラブにお
いて新施設の増設を行い、定
員を増やし、放課後児童クラ
ブを拡充したことは大変喜ば
しいことです。

それでは、放課後児童クラ
ブの中で、学校外に設置され
ている武里放課後児童クラブ
について、現在の学校外の場
所に決まった経緯と、学校外
にあることによる安全対策に
ついて伺います。

○子育て支援担当部長

武里放課後児童クラブは、
現在の施設で運営を行う以前
は、北側校舎1階の教室施設
で運営を行っていました。そ
の後、入室申請児童数の増加

**青パトおよび公用車へ
みまもりカメラ導入について**



鈴木 一利
議員

に伴い、増設を検討しました
が、校舎内に施設の増設整備
ができませんでした。そこで
小学校にほぼ隣接する場所
あり、小学校敷地内と同等で
入室児童の負担も少ないこと
から、現在の施設を独立専用
施設として整備したものです。
安全対策として、入室児童
が登室の際には、指導員が学
校の昇降口まで迎えに行き、
クラブ室まで一緒に同行して
おり、また、クラブ室から校
庭へ行く際にも指導員等が同
行する取り組みをしています。
このほか

○健康寿命について

健康寿命については、
が登室の際には、指導員が学
校の昇降口まで迎えに行き、
クラブ室まで一緒に同行して
おり、また、クラブ室から校
庭へ行く際にも指導員等が同
行する取り組みをしています。
このほか



武里放課後児童クラブ付近

等にも有効であると考えてい
ます。また、青パト車への設
置は、乗車するボランティア
の方々の交通安全意識の向上
や付随する効果として防犯パ
トロールにも有効であると考
えられますので、青パト推進
会と協議してまいります。

このほか
○スクールソーシャルワーカー
とスクールカウンセラーお
よび学校との相互関係強化に
ついて
○一度も介護サービスを利用
していない方に介護予防・健
康促進の観点で表彰制度導入
について

本市では、地域防犯活動の
一環として青色回転灯防犯パ
トロール車（青パト）を巡回
させ防犯強化に努めています。
そこで、青パトのパトロール
充実へ提案します。近年、車
に取り付けるドライブレコー
ダーという録画機器がありま
す。本来の目的とは別に、ド
ライブレコーダーに録画され
ていた映像が防犯カメラと同
じような機能となる場合があ
り、ドライブレコーダーは動
く防犯カメラ（みまもりカメ
ラ）との位置付けにもなるか
と思います。防犯強化の観点
で青パトへドライブレコーダ
ー（みまもりカメラ）を導入
させ、その後は市所有の公用
車にも導入を要望しますが、
市の見解を伺います。

○市民生活部長

ドライブレコーダー設置は、
市内を走行した様子が録画さ
れることで、地域の危険箇所
の発見や有事の際の事後対応

**他議会からの
視察受入れ状況**

- 【平成26年】
- 6月17日 埼玉県吉川市議
会（児童センターの運営方法
について）
- 7月2日 三重県名張市議
会（人口減少対策について）
- 7月9日 新潟県柏崎市議
会（官学連携健康団地づくり
事業について）
- 8月13日 和歌山県和歌山
市議会（防災対策について）
- 10月2日 広島県呉市議会
（人口減少対策について）
- 10月7日 東京都板橋区議

- 会（議会の災害発生時の対応
について）
- 10月9日 熊本県菊池市議
会（庄和総合支所庁舎有効活
用について）
- 10月16日 愛知県刈谷市議
会（シティセールスについて）
- 11月5日 山形県村山市議
会（議会の災害発生時の対応
について）
- 11月6日 愛知県稲沢市議
会（かすかべ未来研究所につ
いて）
- 11月7日 大分県日出町議
会（定住人口の増加策につ
いて）
- 11月13日 静岡県駿東郡町
議会（議会の災害発生
時の対応について）
- 11月17日 佐賀県小城市議
会（市民活動センターの管理
運営について）
- 11月20日 香川県三豊市議
会（議会の災害発生時の対応
について）
- 【平成27年】
- 1月15日 長野県宮田村議
会（議会の災害発生時の対応
について）
- 1月19日 長野県上田市議
会（議会の災害発生時の対応
について、議員定数について）
- 2月10日 福島県本宮市議
会（定住人口増加策について）

今定例会の日程

- 2月16日
- 開会
- 市長の平成27年度施政方針の説明
- 議案第3号から議案第45号までの上程・説明
- 議案第46号の上程・説明・質疑・討論・採決
- 議案第1号議案の上程・説明・質疑・討論・採決
- 2月19・20・23・24日
- 議案に対する質疑
- 2月26日・27日
- 常任委員会
- 3月3・4・6・9・10日
- 一般質問
- 3月12日
- 各常任委員長報告とそれに対する質疑
- 議案および請願に対する討論・採決
- 議案第47号の上程・説明・質疑・討論・採決
- 議案第2号議案から議案第6号議案までの上程・説明・質疑・討論・採決
- 閉会

次の定例会は
5月28日(木)
開会予定です

傍聴して一言

人口ビジョン、総合ビジョ

ンを国の政策に合わせ、平成27年度中に策定することのぜひ策定に当たって、素案の段階から市民に情報提供し、意見を聞き、具体的に希望の持てるものにしていただきたいと思ひます。

公共施設マネジメント計画の策定については2年間で行うとのこと。これも老朽化の程度や利用の状況等、必要な情報を市民に発信した上で、

多くの人の意見を聴取して、具体的に希望の持てるものにしていただきたいと思ひます。

初めて傍聴しましたが、予想したより内容が充実しており、市の問題点をよく質問されていきました。この内容を中心に進展してもらえれば、市も発展すると思われまふ。また、思ったより議員の方がほぼ全員出席されており、市民として安心しました。

性など、大きな視点で議論する場であるべきと考えまふ。
男性・68歳

議員の一般質問の際に、ある議員の私語が気になった。
女性・68歳

今回の傍聴では、傍聴されている人数が多かったのが印象的でした。時期的に震災の質問もありましたが、防災意識を忘れず、市も対応していることがわかり安心しました。
女性・47歳

議会の傍聴は初めてで短時間ではありましたが、市議の方の市政への思いを感じることでできました。たびたび足を向けたいと思ひます。
男性・46歳

今日は2度目の傍聴でした。1回目は地元議員の発言を聞き、今回は時間をかけて他の議員の発言を聞き、聞き比べた結果、市政への理解が広がり、市広報紙の読み方が少しずつ変わっていきそうだ。
男性・78歳

一般質問は議員の意見発表の場でなく、市の今後の方向

※割愛させていただいた部分もあります。

閉会中の委員会活動

▽議会運営委員会

- 2月2日
- ・平成27年度第1回(2月)臨時会の運営について
- 2月13日
- ・平成27年3月定例会の運営について

▽議会改革検討特別委員会

- 3月19日
- ・委員長交際費支給について
- ・会議録検索システムおよびインターネット中継のスマートフォン版について

▽広報広聴委員会

- 3月18日
- ・議会だより第39号の発行について
- ・議会報告会の開催について
- ・行政視察結果報告書について

4月2日

- ・議会だより第39号の発行について
- ・議会報告会の開催について
- ・行政視察結果報告書について

▽図書室運営委員会

- 4月2日
- ・平成26年度図書費決算について
- ・平成27年度図書費予算について

編集後記

木々を渡る風も気持ち良く感じられる季節となりましたが、市民の皆さまは、いかがお過ごしでしょうか。

3月定例会では、平成27年度の当初予算が上程され、市民の皆さまが安心して生活できるよう、限られた財源を有効かつ適正に配分されているか、慎重に審査をしました。今後とも、私たち議員は、よりよい春日部市のため、全力で取り組んでまいります。

広報広聴委員会

委員長	荒木 洋美
副委員長	大野とし子
委員	石川 友和
委員	水沼日出夫
委員	斉藤 義則
委員	古沢 耕作
委員	矢島 章好
委員	蛭間 靖造
オプザーバー	
議長	河井 美久
副議長	栄 寛美

〒344-8577

埼玉県春日部市中央六丁目2番地

春日部市議会

TEL 048-736-1111(代表)

内線3116